

寒季



担当：松本義明

<http://www.asahikonsei.com/>

◇練習スケジュール◇

月/日	会場	時間	備考
1月	10日（土）中央公民館	17:00～19:00	終了後新年会
	17日（土）旭丘公民館	19:00～21:00	
	24日（土）	//	
	31日（土）	//	
2月	7日（土）	//	
	14日（土）	//	
	21日（土）	//	
	28日（土）	公民館まつり出演	
3月	7日（土）旭丘公民館	19:00～21:00	
	15日（日）	//	日曜練習
	22日（日）	//	日曜練習
	29日（土）	//	

◇第2回役員会報告◇

12/13 午後6:00～7:00 練習の前の時間を利用して神谷先生の出席を得て久しぶりに開かれました。

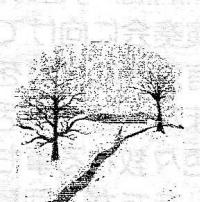
1) 長久手リニモ活性化イベント参加への確認

- * 集合：長久手文化の家 光のホールに午後2:00
- * 練習：2:00～3:30
- * 移動：3:30～4:10
- * 本番：4:45～5:30



2) 尾張旭市公民館まつり 2/28（土）について

- * 曲目候補 良寛相聞より 2一手まり 3一君や忘る道
- * 当日は石川ひとみ先生が出演出来ず、須田さんのピンチヒッターを検討中です。
- * 当日の午前10時～12時、旭ヶ丘公民館でリハーサルを行います。
- * お正月休み中に「手まり」の譜読みが宿題になりました。頑張りましょう。



3) 尾張旭市はH21年度の減免団体の条件を変更し尾張旭市住民比率が70%以上となりました。因みにわが団の尾張旭市民比率は51%。

担当の佐竹さんが各方面、副市長とも交渉を重ねましたが好転は望めません。団の財政負担が大きくなります。団費の値上げを避けるべく会計係で具体的に予算を検討していきますが、どうしても目途が立たない場合、ご無理をお願いすることになりますのでよろしくお願ひ致します。

2009年 新年会のご案内

とき：2009年1月10日（土） 18時45分～21時00分

ところ：尾張旭市中央公民館3階 第4研修室（第7回演奏会の打ち上げ会の場所）

会費：¥4000円（初練習の1/10に徴収致します）

追記：2次会もあります。カラオケワイス 21時30分～2時間の予定

1人1時間 580円（ソフトドリンク付き）TEL：0120-133001

2009年もあと10日を残すのみとなりました。多彩な年であった人、大きな悲しみに遭遇してしまった人、等いろいろでしょう。今年入団された新人たちの1年はどうだったのでしょうか。ベースの酒井さん、ソプラノの長苗さんに一言をお願いしました。

バス：酒井 敦智さん

急速な経済情勢の変化を受けて、「08年は先行き不透明な中で終わろうとしていますが、私にとっては、思い出に残る大変良い年となりました。それは、4月に次男が大学に入り、これを機に私も仕事を離れて学生時代に少しかじった合唱を、と思い旭混声合唱団に入団したことです。また、定期演奏会に向けて早く曲を覚えなければならぬ緊迫のスタートでありながら、神谷先生の指導・曲作りはすばらしく練習は大変充実したもので毎週土曜日が楽しみでした。何とか暗譜もでき何十年ぶりかのステージでの合唱は大変緊張しましたが、歌うことは楽しく（快感）思いきって入団して本当によかったなあと思っています。ところで少し話はかわりますが”山梨に転勤していった学生時代（合唱団）の友人が子供の事を考え奥さんの実家が近い日進に家を買うというではありませんか！しばらくは単身で山梨ですがもどってきたらまた一緒に歌えるかも？”合唱を始めたら、こんな話があり更に楽しみが増えました。最後に、まだまだ色々な面で戦力になりませんが行事にも積極的に参加し楽しく練習していくことを思っていますので来年もよろしくお願ひいたします。

ソプラノ：長苗 陽子さん

今年の世相を表す漢字に「変」が選ばされました。良くも悪くも変化の多かった、また変化が望まれた結果でしょうか？

私の生活にもちょっとしたchangeがありました。

「旭混声」との出会いです。ママさんコーラスの乗りで入団した為か、現実とのギャップは大きく、演奏会に向けての練習では正直プレッシャーも感じましたが、終わってみれば最初からこのような有意義な経験をさせていただいたことにとても感謝をしています。また、日常生活では得る機会の少ない縦の関係に触れられることも楽しみのひとつです。色々教わる事も多く参考にさせてもらっています。

私たちが入団した後も数人の実力者の方が入団されました。「先でよかった」、「後だったら絶対拒否されてたなー」と真剣にホットしています。当合唱団も神谷先生のご指導の下、益々のレベルアップを目指して前進してゆくことだと思います。振り落とされないようにしがみ付いていきますので、くれぐれも安全運転を心掛けていただきますようお願い申し上げます。

皆様、来年もよろしくお願ひ申し上げます。





より理解を深め歌いこむ為に

以下の文章は、高知大学講師の和田浩氏の講演（平成18年4月16日坂出市／万葉会館）を基に編集された『研究ノート』良寛と貞心尼の愛一貞心尼筆『蓮の露』訳考一から抜粋したものです。今回は冒頭に記された前書きを紹介したいと思います。

師良寛の死を看取って、一念発起し数年をかけてその詠草を渉猟蒐集し座右の銘とする。まことに知性と愛情の深さなくしては叶わぬこと、貞心尼への敬愛の情を禁じえない。



『蓮の露』前書き(口語訳)

この前書きは、貞心尼による師良寛の生涯の総括であり、簡にして要を得た良寛の紹介文ともなっており、けだし名文とするに恥ずかしくないものと思われる。以下小段落ごとに口語訳する。

- 良寛禅師と申された方は、出雲崎の橋氏のご長男でいらっしゃったが、二十二歳の時に頭を丸められて、備中の国の円通寺の和尚で国仙という高徳の僧がおいでになられたのを師として、長年あちこち回行なされたという。
- また、世にその名が知られている人々を遠くも近くも遍く訪問して諸国で修行なされこと二十年ほどでついに仏道の奥を究めつくして後、故郷にお帰りなされたのであるが、なお棲む所を定めずあちこちと行かれていたが、後に国上山にのぼり棲んで、自ら水を汲み薪拾って精進なされること三十年とか。
- 島崎の里の木村某という者が、良寛禅師の道徳を慕って、親しく出入りしていたが、（良寛禅師が）お年を召されてこのような（草深い）山陰にただ独りでお住まいになられていることがたいへん心もとなく思われるのを、他所事に見過ごし申し上げるのも心苦しいので、自分の屋敷の片隅にささやかな庵で空いているのがありましたので、そこにお移りください、全て自分の方からいたしますからとお勧め申し上げたところ、どのようにお思いになられたのか、否ともおっしゃられず、そこにお移りになられてから、主（木村某）がたいへんねんごろにお世話を申し上げたので、良寛禅師も心安らかであるとお喜びになられたのであったが、その年から6年目の春の初めのころ、ついにお亡くなりになられたのであった。
- このように俗世を離れた御身であっても、やはり月花の情はお捨てにならず、よろずのことにつけ、折に触れて歌を詠み、詩を作りて、その志を述べなされた。しかし、これらのことと主となされていないので、誰と（特定の）師によって問学もなされずただ仏道精進の心を種として歌を読み出されていた。その歌の様は自ずから古の手振りで、姿、詞も巧みではないが、丈高く調べなどからで、並みの歌詠みの分際ではない。長歌、短歌とさまざまある中では、時に応じ物に戯れて詠み捨てなさったのもあるが、それさえ世の通常の歌と同じではない。釈教の歌は言うまでもなく、また月の兔、鉢の子、白紙など詠まれているのも、しみじみと尊く思われ、声に出て誦じれば自然心の濁りも清められていくような気がするようである。この道に心ある人がこの歌を見ることが出来て、心に迷うことが無ければこれ以上の何の幸いがあろうか。
- それでこのような歌々がここかしこに散逸して埋もれて世の中に朽ち果ててしまうのもたいへん惜しいので、あちこち訪ねもとめて少しずつ拾い集め、また、自分が折々禅師の庵に参り通った時に詠み交わしたもの書き添えて一巻とした。これは師の御形身と座右に置いて朝夕に手にとって来し方を偲ぶ縁にもしようということで（まとめたものである）。

天保六年（注1835年）五月一日に 貞心尼記す

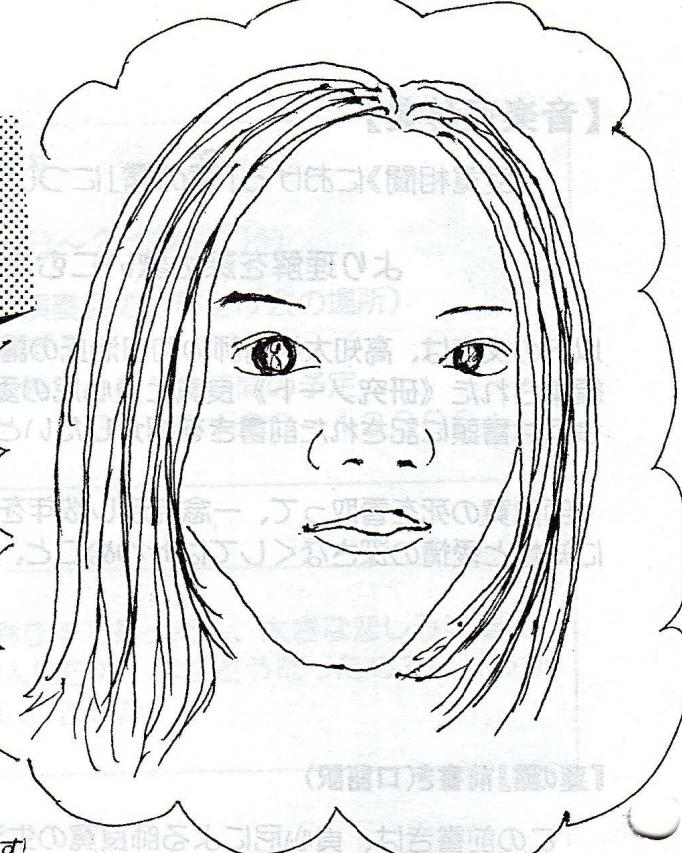
えみちゃんの

突撃インタビュー

今月の突撃インタビューは、ただいま高校1年生、
わが団の平均年齢をぐっと下してくれているアルト

いわもと な お こ
の岩本 菜桜子ちゃんで～す！

今年の5月に入団いたしました。



生年月日 1993年2月20日

家族構成 父、母、弟と4人家族です。(団長一家です)

好きな教科 情報、世界史

嫌いな教科 数学、体育

得意なこと しりとり！(菜桜ちゃんの“しりとり”は半端じゃないんです。さっそく懇親会では菜桜ちゃんとしりとり合戦をいたしましょう)

部活は？ 漫画やアニメについての話のなかからイラスト等を描いています。(これまた菜桜ちゃんのイラストは見事！！以前見せてもらったのですが、似顔絵は菜桜ちゃんに頼もうと思いました)

今まで行った旅行先で一番楽しかったところは？

小樽

これから行ってみたいところは？

三陸のリアス式海岸(へえー！？、菜桜ちゃんらしい)

歌はどんな歌が好き？

荘厳な感じの曲

好きな歌手は(グループでもよし)？

ALIPROJECT(すいません。私知りませんで～す…)

菜桜ちゃんはなかなかの理論家で話をしだすと尽きないです。今一番多感な時で、いっぱい
吸収してるんだろうなと思うとこの先とても楽しみです。



編集後記

今年は第7回の演奏会を成功のうちに終えることが出来ました。また合唱団の冬の時代といわれる中にあって多くの新人(8名)を迎えることが出来ました。偏に神谷先生、石川先生、毛利先生のご指導をはじめ団員相互が信頼し合い協力し合った結果であろうと思います。これからも毎回の練習が熱意と緊張感に満ちた楽しい時間であるように、個々の団員が各々の特性を生かして協力し合う今の体制を発展させれば更に一段の高みへと進めると信じて新年を迎えたいと思っています。

B・松本